

## < 中国 > 大島商船高等専門学校

\*\*\*\*\*断り\*\*\*\*\*

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

大島商船高等専門学校 HP : <https://www.oshima-k.ac.jp/>

令和 2 年度学校概要 : <https://www.oshima-k.ac.jp/school/R2gaiyou.pdf>

\*\*\*\*\*

\*アクセス(図は大島商船高専 HP より引用)

〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松 1091 番地 1



図 1 アクセスマップ

## \*特色

- ・ルーツは1897年（明治30年）に設立された船舶職員養成学校で、その歴史は約120年になる。
- ・本科は商船学科(商船学科は5年6ヶ月制)、電子機械工学科、情報工学科の3学科編成
- ・専攻科は海洋交通システム学専攻、電子・情報システム工学専攻の2専攻編成
- ・JABEE 認定校

## \*教育目標・教育理念(一部文章は大島商船高専 HP より引用)

### 教育理念・教育目標・養成すべき人材

#### 教育理念（学校全体）

海洋に育まれる心豊かでたくましい海運技術者並びに創造性豊かな工業技術者の育成を目指す

#### 教育目標

- 1 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する
- 2 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する
- 3 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する

#### 養成すべき人材

我が国のものづくりの技術基盤を支え、質の高い専門能力を有し、創造性に富み、国際感覚を身につけた視野の広い実践的技術者を養成する

#### 学科別教育目標

##### 商船学科

- ・海技士資格を有し世界で活躍する優秀な海のスペシャリストの養成
- ・海事関連産業のニーズに対応した海事教育訓練の提供
- ・幅広い海事関連分野に対応できる基礎学力、技能、国際感覚及び管理能力の育成

##### 電子機械工学科

- ・電子・電気と機械に関する高度な知識を有する実践的技術者の育成
- ・コンピュータ・情報関連教育による高度なコンピュータ活用能力の育成
- ・論理的文章の表現力とプレゼンテーション能力の育成
- ・福祉と環境も考慮に入れることのできる豊かな人間性と責任感の育成

##### 情報工学科

- ・豊富な情報技術をもとにした視野の広い応用能力の養成
- ・グループリーダーとしてのコミュニケーションとプレゼンテーションの能力の養成
- ・柔軟で創造的なシステムデザイン能力の養成

##### 専攻科（共通）

- ・IT教育により、高度なコンピュータ支援能力の育成

- ・国際化教育により、語学力や文化的教養の育成
- ・福祉と環境も考慮に入れることのできる総合力の育成

#### 専攻科（海洋交通システム学専攻）

- ・海洋を中心とした国際・国内物流管理分野及び海事関連分野で活躍できる海運管理者の育成

#### 専攻科（電子・情報システム工学専攻）

- ・電子・情報システムに関する高度な研究開発ができる実践的開発技術者の育成

### \*3つのポリシー(一部文章は大島商船高専 HP より引用)

#### アドミッションポリシー

大島商船高等専門学校では、次のような人材を求めている。また、3年次編入学の場合も以下に準じる。

1. 高専入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人
2. 学校生活に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力を身につけている人
3. 社会や集団のルールを守ることができる人
4. 海事分野または工業分野に関する専門知識と技術の習得に意欲のある人
5. 専門知識と技術を身につけ、新しい技術の創造に挑戦する意欲のある人

#### アドミッションポリシー

##### 専攻科全体

1. 商船学もしくは工学の基本的な知識を習得している人
2. 基礎学力をさらに深め、実践力を有するデザイン能力を身につけたい人
3. 研究・開発能力を身につけ、自主的、継続的に努力できる人
4. 技術者倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として社会に貢献したい人

##### 専攻科の設置

平成 17 年 4 月

##### 専攻科の目的

大島商船高専専攻科は、高等専門学校等の高等教育機関において基礎的かつ実践的教育を受けた卒業生に対して、

**優れた専門性と豊かな人間性を有する海事技術者と実践的開発技術者の育成**を目指す。

##### 【具体的には】

- ・海洋を中心とした国際・国内物流管理分野及び海事関連分野で活躍できる海事技術者の育成
- ・電子・情報システムに関する高度な研究開発ができる実践的開発技術者の育成
- ・IT教育により、高度なコンピュータ援用能力の育成
- ・国際化教育により、語学力や文化的教養の育成

- 福祉と環境も考慮に入れることのできる総合力の育成を目的とする。

## ディプロマポリシー

### 【商船学科】 ディプロマポリシー

商船学科では、本校に在籍し学科教育目標に基づく以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。

- (1)船舶運航及び管理に必要とされる専門技術と知識を有し、課題を発見し解決できる能力
- (2)海技従事者としてのチームワーク、リーダーシップ及びコミュニケーション能力
- (3)豊かな教養と倫理観、責任感を有し、社会に貢献できる能力

### 【電子機械工学科】 ディプロマポリシー

電子機械工学科では、本校に在籍し学科教育目標に基づく以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。

- (1)電子・電気工学、機械工学に関する専門知識を有し、問題を解決できる能力
- (2)コンピュータ・情報に関する知識を有し、コンピュータを活用できる能力
- (3)報告書や論文など論理的文章の作成、ならびに学術的プレゼンテーションができる能力
- (4)福祉や環境を考慮に入れるなど豊かな人間性と責任感を持って行動できる能力

### 【情報工学科】 ディプロマポリシー

情報工学科では、本校に在籍し学科教育目標に基づく以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。

- (1)数学・自然科学・工学の基礎知識と情報工学の専門知識を活用し課題を解決する能力
- (2)グループリーダとしての責任感・倫理観、他者と協働するためのコミュニケーション能力及び自らの考えを明確な言葉で表現するプレゼンテーション能力
- (3)情報工学の実験・演習や研究活動を通じて柔軟で創造的に情報システムをデザインする能力

### 【海洋交通システム学専攻】 ディプロマポリシー（専攻科修了認定方針）

本専攻では、陸上と船舶をつなぐ視点および陸上の視点から、物流・輸送システムやプラント等の設計・開発等の海事関連分野において、新たな物流・輸送システム、エネルギープラント等の設計・開発などのシステム創生を担える海事技術者を育成する。このような人材育成目標に到達するために、所定の単位を修得し、かつ以下の能力と素養を身につ

けた学生に修了を認定する。

- **A 地球環境の視点と倫理観を持ち、国際性を身につけた海洋交通システム技術者**
- A-1 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができる。
- A-2 社会や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができる。
- **B 海・船・物流等に係る知識・技術を身につけ、海陸の複合領域で活躍できる人材**
- B-1 商船学分野における諸現象の仕組みを数学的・物理的に理解できる。
- B-2 船舶運航に関する航海学、運用、主機関ならびに補助機関に関する分野について理論的に説明できる。
- B-3 船舶とその運航に関する総合的な分野の実験・実習を通して、理論的に考察し、活用することができる。
- **C 自然に優しく、人の営みを支える海事関連システムを設計・開発できる人**
- C-1 日本語・外国語により書かれた文章を理解し、文章や口頭発表により表現することができる。
- C-2 個人またはグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現することができる。
- C-3 新しい海事に関するシステムや概念を創生し、表現することができる。

#### 【電子・情報システム工学専攻】ディプロマポリシー（専攻科修了認定方針）

本専攻では、メカトロニクス、ソフトウェア、電子・電気、ネットワークの技術を身につけ、これらを有機的に結びつけることにより、利便性・効率性・信頼性そして持続的社会形成を考慮したロボット技術、情報システム、電子知能システムあるいはそれらを複合・融合した電子・情報システムが創生できる人材を育成する。このような人材育成目標に到達するために、所定の単位を修得し、かつ以下の能力と素養を身につけた学生に修了を認定する。

- **A 国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができる電子情報システム技術者**
- A-1 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について統合的に把握することができる。
- A-2 社会、福祉や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができる。
- **B メカトロニクス・ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークのアーキテクチャ技術を身につけ、高度な情報化社会に貢献できる電子情報システム技術者**
- B-1 工学分野における諸現象のしくみを数学的・物理的に理解できる。
- B-2 電子・電気、機械分野及び情報通信分野について理論的に説明できる。
- B-3 電子・電気、機械分野及び情報通信分野の実験・演習を通して、工学的に考察し、

活用することができる。

- **C ものづくりを通して、メカトロニクス、知能システムを設計・構築・提案できる電子情報システム技術者**
- C-1 日本語・外国語により書かれた文章を理解し、文章や口頭発表により表現することができる。
- C-2 個人またはグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現し表現することができる。
- C-3 新しい電子・情報システムの概念を創生し、表現することができる。

### カリキュラムポリシー

#### 【商船学科】カリキュラムポリシー

商船学科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。

- (1)一般基礎科目：豊かな教養、国際的感覚、コミュニケーション能力、倫理観と責任感を身につけるために、数学系、自然科学系、語学系、人文社会系、保健体育、芸術などの科目を開設する。
- (2)工学基礎科目：船舶運航に必要な工学系基礎科目を開設する。
- (3)商船系専門科目：海技従事者として、船舶運航に必要な専門知識と技術修得のため、航海系及び機関係の科目を開設する。
- (4)実験実習・卒業研究に関する科目：海洋海事分野において社会に貢献できる人間力を育成するために、実験実習、乗船実習、卒業研究などを開設する。

#### 【電子機械工学科】カリキュラムポリシー

電子機械工学科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。

- (1)一般基礎科目：豊かな教養、国際的感覚、コミュニケーション能力、倫理観と責任感を身につけるために、語学系、人文社会系、保健体育、芸術などの科目を開設する。
- (2)工学基礎、情報基礎科目：電子・電気工学、機械工学の基礎科目として数学、物理、化学などの科目、コンピュータ・情報の基礎として情報リテラシ、プログラミングなどの科目を開設する。
- (3)電子・電気工学系、機械工学系専門科目：電子・電気工学に関する専門科目として電気基礎、電子回路、電気回路などの科目、機械工学に関する専門科目として機械工作、機械設計、材料力学などの科目を開設する。
- (4)専門的能力の実質化のための科目：電子・電気工学、機械工学に関する論理的文章の作成、学術的プレゼンテーションができる能力を養うための応用科目として実験実習、キャリアデザイン、卒業研究などを開設する。

### 【情報工学科】 カリキュラムポリシー

情報工学科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。

- (1)一般基礎科目：グループライダーとしての責任感・倫理観を身につけ、高いコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身につけるために、語学系、人文社会系、保健体育、芸術などの科目を開設する。
- (2)工学基礎科目：情報工学並びに関連専門科目の基礎となる数学、物理、化学などの数学・自然科学系科目を開設する。
- (3)情報工学系専門科目：豊富な情報技術を身につけるために、ソフトウェア系、コンピュータシステム系、情報通信ネットワーク系、情報数学・情報理論系などの情報工学専門科目を開設する。課題を解決するための幅広い知識を身につけるために機械系、電気・電子系専門基礎科目を開設する。
- (4)実験実習・創造演習・卒業研究に関する科目：柔軟かつ創造的にシステムをデザインする能力を身につけるために実験実習、創造演習、卒業研究などを開設する。

### 【海洋交通システム学専攻】 カリキュラムポリシー（教育課程方針）

海洋交通システム学専攻では、物流・輸送システムやエネルギープラント等の設計・開発等の海事関連分野において、グローバルな視点からシステム創生を担える海事技術者を育成する。具体的には、教育目標に沿って以下の教育課程を編成する。

- 1.本科で学んだ海事技術・地球環境・国際性を共通基礎分野として、海洋交通・エネルギーシステムの開発、設計を目指し、商船学および理工学を主とした関連分野の高度な知識や技術に関する科目を体系的に編成する。
- 2.PBL教育\*や海外インターンシップ等を取り入れ、問題発見解決へのアイデアの着想からシステムの設計・開発までのシステム創生に必要な能力や語学能力の育成等、実践的な専門能力と技術英語・数学物理演習等の科目を横断的有機的に結合した教育課程を編成する。

\*PBL教育：Problem Based Learning の略，課題解決型学習

### 【電子・情報システム工学専攻】 カリキュラムポリシー（教育課程方針）

電子・情報システム工学専攻では、利便性・効率性・信頼性そして持続的社会形成を考慮したメカトロニクス、情報システム、電子知能システムあるいはそれらを複合・融合した電子・情報システムが創生できる人材を育成する。具体的には、以下の教育目標に沿って教育課程を編成する。

- 1.高等専門学校本科教育で修得した学力を基礎とし、さらに高度化・複合化した教育を行うために、応用数学・物理、技術者倫理、産業論、英語関連科目などの共通科目

を編成し、環境に配慮した技術を取り扱う技術者としての科目を体系的に編成する。

- 2.本科で身につけた電子・電気、機械及び情報通信分野の基礎知識やものづくり技術をベースに、これらの理論的な裏付けを行う科目、様々な応用システムに関する科目を横断的有機的に結合した教育課程を編成する。
- 3.企業や他の教育機関との共同教育、問題発見・解決力育成を目指した PBL 教育\*、海外インターンシップ等の国際教育を行う科目を編成し、広い視野と柔軟な適応能力を育成する教育課程を編成する。
- 4.実験・演習と特別研究を系統的に編成し、開発能力を有した創造的技術者を育成する教育課程を編成する。

\*PBL 教育：Problem Based Learning の略，課題解決型学習

\*JABEE(一部文章および表、URL は大島商船高専 HP より引用)

### J A B E Eプログラム

大島商船高等専門学校電子機械工学科・情報工学科4・5年，並びに電子・情報システム工学専攻のカリキュラムで構成している「システムデザイン工学プログラム」が，国際的に通用する技術者育成に適合するものとして，日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定を受けた。

平成26年度から適用される。

### JABEE の目的と概要

JABEE の目的は、『大学や高等専門学校などの高等教育機関で行なわれている教育活動の品質が満足すべきレベルにあること，また，その教育成果が技術者として活動するために必要な最低限度の知識や能力(Minimum Requirement)の養成に成功していることを認定すること』であるとされている。認定は、非政府団体の日本技術者教育認定機構（JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education）によって行われる。

### 本プログラムで養成する技術者像

システムデザイン工学プログラムで養成する技術者は、企業や社会での新しいシステムやものづくりの世界で、設計したり構築をするメンバーとして活躍できる人材である。

現代のものづくり分野では、ユーザの立場を重視した発想と、新しい技術の社会や環境に与える影響を配慮したデザインができる能力が必要とされています。技術者としての確かな倫理観と対応能力を身につけ、ものづくりを通して社会貢献できる人材の育成を実現する。

### JABEE 対応プログラムの学習・教育到達目標

JABEE 対応プログラムの学習・教育到達目標は、1. 豊かな教養と責任感、2. 工学の

基礎知識、3. 専門知識を持ちものづくりを完遂する能力、4. コミュニケーション能力、を身につけることをめざした次の 10 項目からなる。

#### 「システムデザイン工学プログラム」の学習・教育目標

1. 豊かな教養と責任感	(1) 歴史・文化・社会・環境などの教養を広く学び、地球的視野を身につける
	(2) 技術者倫理について学び、技術者としての責任を自覚できる
2. 工学の基礎知識	(3) 数学・自然科学および情報技術の知識を修得し、その知識を専門分野に応用できる
	(4) 自らのアイデアを基に実施計画を立案し、自主的、継続的に実行できる
3. 専門知識を持ちものづくりを完遂する能力	(5) 基礎的かつ複合的な工学専門知識（設計・システム系、情報・論理系、材料・バイオ系、力学系、社会技術系の科目群）を修得し、具体的な工学問題の解決に応用できる
	(6) 電気・電子・情報・機械分野の基礎知識を修得し、実験、問題分析、工学的な問題解決に応用できる
	(7) 複合的視点による問題解決能力と対応能力を身につける
4. コミュニケーション能力	(8) 日本語による論理的文章の表現力を高め、プレゼンテーションができる
	(9) 英語で表現された文章や技術論文を理解でき、英語による簡単なコミュニケーションができる
	(10) 目標達成のために問題点を討議し、協働で問題解決にあたることができる

#### 非 JABEE プログラムの学習・教育目標

非 JABEE プログラムの名称は「電子・情報システム工学プログラム」である。電子・機械・情報などの専門技術分野をより深く修め、資格取得などにも積極的に取り組み、専門分野に特化した技術者の育成を実現する。

#### 「電子・情報システム工学プログラム」の教育目標

- 電子・情報システムに関する高度な研究開発ができる実践的開発技術者の育成
- IT 教育により、高度なコンピュータ支援能力の育成
- 国際化教育により、語学力や文化的教養の育成
- 福祉と環境も考慮に入れることのできる総合力の育成

[JABEE プログラムを開始するにあたり学生の皆さんへの案内](#)

[簡易版](#)

[大島商船高等専門学校 技術者教育プログラム基準](#)

\*入試形態(URLは大島商船高専 HP より引用)

[令和3年度 本科学生募集要項](#)

[令和3年度 編入学生募集要項](#)

[令和3年度 専攻科学生募集要項](#)

\*試験状況及び偏差値や倍率(一部文章及び表は大島商船高専 HP より引用)

偏差値

商船学科 **56**

電子機械工学科 **55**

情報工学科 **55**

入試志願者及び入学者

本科

年度	志願者数	入学者数	内訳		
			商船学科	電子機械工学科	情報工学科
平成27年度	356	125	40	43	42
平成28年度	384	130	44	42	44
平成29年度	356	127	40	45	42
平成30年度	293	132	42	47	43
平成31年度	253	133	40	47	46

専攻科

年度	志願者数	入学者数	内訳	
			海洋交通	電子・情報
平成27年度	13	11	1	10
平成28年度	16	11	3	8
平成29年度	13	11	3	8
平成30年度	20	19	4	15
平成31年度	18	17	1	16

## \*卒業後の進路状況

### 商船学科

過去の主な就職先 ※50音順

旭化成, アジアパシフィックマリン, イースタンカーライナー, 宇部興産海運, NS ユナイテッド内航, NS ユナイテッド内航マリン, オーシャントランス, 花王, 鹿児島船舶, 川崎汽船, 喜扇丸, 共栄マリン, ケイヒン, ケイラインローローバルクシップマネージメント, JX オーシャン, 商船三井, 商船三井フェリー, 第一中央内航, 大晃機械工業, 田渕海運, 鶴見サンマリントanker, 洞雲汽船, ドーヴァル・シップ・マネージメント, トクヤマロジスティクス, 日本郵船, 阪九フェリー, フェリーさんふらわあ, 防予フェリー, 松山・小倉フェリー, 宮崎産業海運

過去の主な進学先 ※50音順

大島商船高等専門学校専攻科, 神戸大学海事科学部, 東京海洋大学海洋工学部, 豊橋技術科学大学, 広島大学

### 電子機械工学科

過去の主な就職先 ※50音順

旭化成, いすゞエンジニアリング, 出光興産, 宇部興産, オムロンフィールドエンジニアリング, 花王, 関西電力, 鋼鉄工業, 国立印刷局, 沢井製薬, JXTG エネルギー, 新川電機, 周防大島町役場, 総合警備保障, ソニーLSI デザイン, ダイキン工業, ダイセル, 中国電力, 東海旅客鉄道, 東洋自動機, 日本製鋼所 広島製作所, 日本発条, 日立アドバンストシステムズ, 日立ビルシステム, 富士電機, マツダ, マツダ E&T, 三菱重工業, 三菱電機システムサービス, ムラテック CCS

過去の主な進学先 ※50音順

大島商船高等専門学校専攻科, 岡山大学, 九州工業大学, 熊本大学, 佐賀大学, 千葉大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 宮崎大学, 山口大学

### 情報工学科

過去の主な就職先 ※50音順

岩国市役所, NEC フィールドエンジニアリング, NS ウェスト, NTT-ME, NTT コムエンジニアリング, NTT コムソリューションズ, NTT データフロンティア, NTT ネオメイト, NTT フィールドテクノ, オムロンフィールドエンジニアリング, 花王, 関西電力, KDDI エンジニアリング, CTC システムマネージメント, CTC テクノロジー, ソニーLSI デザイン, ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ, 中国電力, 東京ガス, 日本オーチス・エレベータ, 日立アドバンストシステムズ, 日立ハイテクノロジーズ, 日立ビルシステム, 富士通九州システムズ, マツダ, メンバーズ, 山口銀行, 山口県警察署, LIXIL, リコー

ジャパン

過去の主な進学先 ※50 音順

大島商船高等専門学校専攻科，九州工業大学，島根大学，豊橋技術科学大学，福岡医療専門学校，文化服装学院，立命館大学

#### 海洋交通システム学専攻

過去の主な就職先 ※50 音順

NS ユナイテッド内航マリン，鶴見サンマリン，ドーヴァル・シップ・マネジメント，三浦工業

過去の主な進学先 ※50 音順

神戸大学大学院海事科学研究科

#### 電子・情報システム工学専攻

過去の主な就職先 ※50 音順

NTT-ME，NTT ネオメイト，花王，クラレ，CTC テクノロジー，ジョンソンコントロールズ，全国共済農業協同組合連合会，東ソー情報システム，日本インシュレーション，日本オーチス・エレベータ，ヒロケイ，三菱電機システムサービス，リオン

過去の主な進学先 ※50 音順

九州工業大学，筑波大学，長岡技術科学大学，広島大学，北陸先端科学技術大学院大学